

1. 目的 :

● 公共発注者の理解促進

モデル工事を発注する発注者に、CCUSの趣旨や適正な運用を理解していただく



● 受注者に対する徹底的なサポート

- ・実施要領に関わらず適正な運用をマスターすることでモデル工事への積極的な参加意欲を醸成
- ・デジタルなCCUS運用を体得して、施工体制台帳・建退共等へのデータ連携管理で効率化を実感
- ・CCUS活用企業として、若手入職者へアピール、採用に貢献

2. 期待される効果：

- **元請**は建設業振興基金の**サポート**を受けて運用するので、**適正な運用方法をマスター**できる。 *別紙参照
 - **発注者**自身が**CCUSの運用状況を確認**できる。(施工体制等登録方法、カードタッチ状況、就業履歴蓄積内容など)
 - 工事成績評定の計測方法など、実際のデータを抽出する過程やそれに伴う労力を理解していただくことで、**元請のモチベーションアップ**につながる。
 - **モデル工事見学会**の開催により、周囲の事業者、発注者に**CCUSの適正な運用**について**水平展開**が図れる。
- 2024.10.01 関東地整発注モデル工事見学会の様子：

・元請からの報告内容：カードタッチ状況は動画で紹介



・見学会開催状況：地場元請、発注者が参加



- 全国に存在する、CCUSに前向きに取り組む企業を徹底的にサポートするとともに、公共発注者によるモデル工事へのエントリーをお手伝いしています。
- なかなか実践環境を見る機会が少ない公共発注者との相互理解を計りながら、モデル工事見学会等を通じて当該エリアの同業他社や専門工事企業への普及展開を図っています。

★適用条件:



- 元請が直接雇用している技能者だけでなく、下請企業を含めて技能者のレベルアップ・処遇改善のために汗を掛けること
- 既にモデル工事を受注した、もしくは、これから適正な現場運用を学び、モデル工事を受注していきたい
- 同業者や下請、発注者等を集めて見学会を開催できること(開催時期は応相談)



★運用手順:

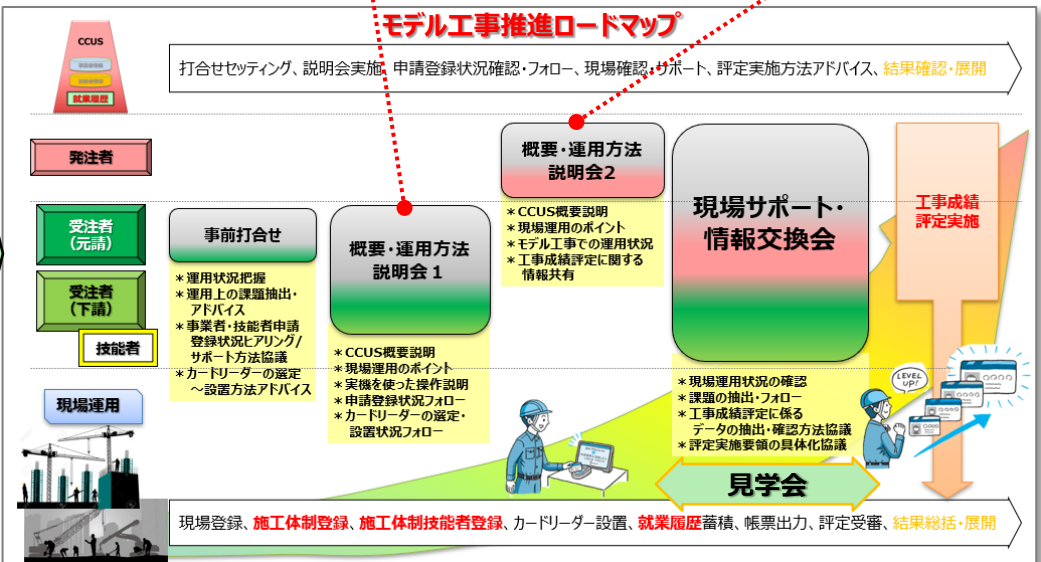
サポート申込:
ccus01@kensetsu-kikin.or.jp

事前打合せ(Web)

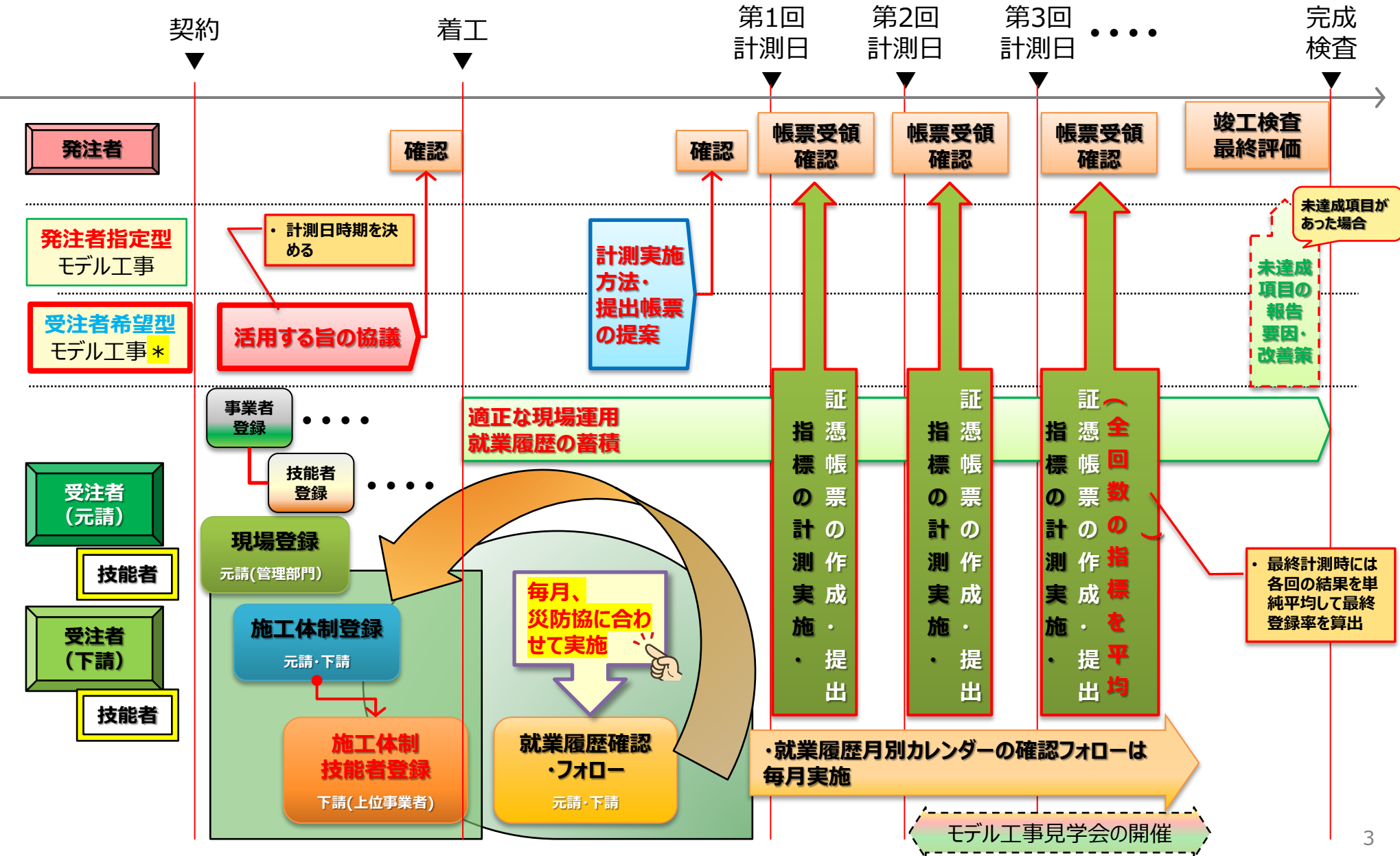
- 右記**モデル工事推進ロードマップ**に従い、基金のサポートを受けながら、発注者とともにモデル工事を進めていきます。
- 必要に応じて、下請の事業者・技能者**登録会**も開催します

★留意事項:

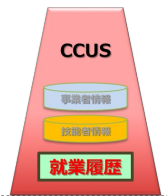
- 事前打合せは無料ですが、説明会1以降は以下の費用はご負担ください
- 講師の旅費(交通費・宿泊費)
- 説明会・見学会に掛かる費用(施設利用料、テキスト印刷代、電力通信費等)



4-4. CCUS活用モデル工事の実施フロー



● **目的**：モデル工事参加者がCCUSの本質を理解し、適正な運用状況を共有したうえで
正当な評価が実現され、意義のあるモデル工事となることで普及促進を図る



打合せセッティング、説明会実施、申請登録状況確認・フォロー、現場確認・サポート、評価実施方法アドバイス、**結果確認・展開**

発注者

受注者
(元請)

受注者
(下請)

技能者

現場運用



事前打合せ

- * 運用状況把握
- * 運用上の課題抽出・アドバイス
- * 事業者・技能者申請登録状況ヒアリング/サポート方法協議
- * カードリーダーの選定～設置方法アドバイス

概要・運用方法説明会 1

- * CCUS概要説明
- * 現場運用のポイント
- * 実機を使った操作説明
- * 申請登録状況フォロー
- * カードリーダーの選定・設置状況フォロー

概要・運用方法説明会 2

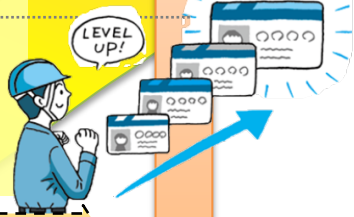
- * CCUS概要説明
- * 現場運用のポイント
- * モデル工事での運用状況
- * 工事成績評価に関する情報共有

現場サポート・情報交換会

- * 現場運用状況の確認
- * 課題の抽出・フォロー
- * 工事成績評価に係るデータの抽出・確認方法協議
- * 評価実施要領の具体化協議



モデル工事見学会の開催



現場登録、**施工体制登録**、**施工体制技能者登録**、カードリーダー設置、**就業履歴**蓄積、帳票出力、評価受審、**結果総括・展開**

● 当初は**基本情報登録**と**カードタッチ**から始めましょう → **メリット**を享受するには本来の**適正な現場運用**が必要

